

生徒のレポートや工業技術作品

JR御坊駅舎内で展示

紀央館高

紀央館高校生徒の地域の伝統文化や産業調査などのレポートや工業技術科作品が、JR御坊駅で展示されている。

コロナ禍で学校来場者の制限がかかったり、学校情報発信が校内だけになりがちだったことなどから、生徒活動や同校を周囲に知っ

てもらおう機会づくりに同駅へ依頼。スペースが少ない中、好意で展示が決まった。駅舎内のガラス張り壁には、地域研修期間コミュニケーションラーニングタイム

(CLT)で生徒がまとめたレポートを文化祭で発表し、保護者や地域住民、生徒、教諭らが投票した結果、推薦されたレポート2作品を展示。

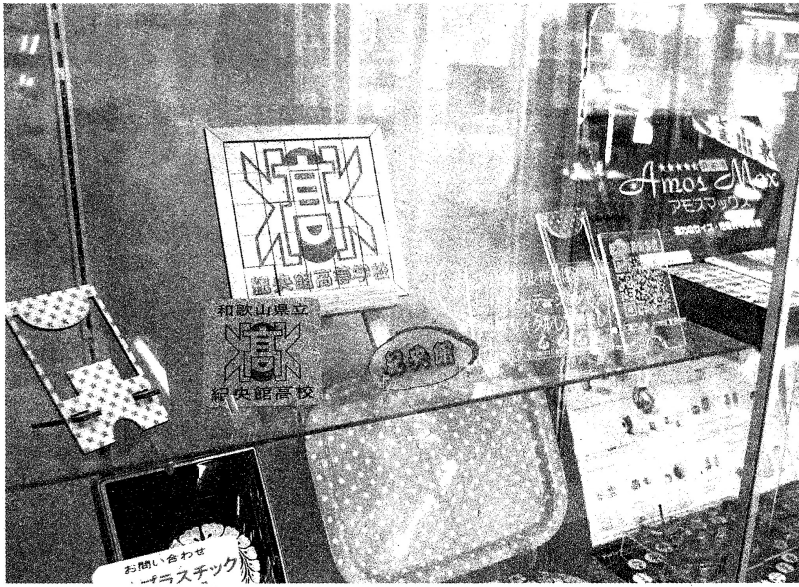
印南町内の農家ハウスで畝作りや堆肥原料とする焼いたもみ殻を敷き詰めるなど体験内容をまとめたものや、危険な個所の調査や聞き取り内容、赤や橙に危険度に分けて同町内のハザードマップづくりの調査書を

張っている。

駅舎の待合室内にある物産展コーナーには、木材に校章を焼き付けたものやコロナ感染防止対策で使っていたアクリル板を再利用して、同校のホームページにつながるQRコードを記したレーザー加工品を並べている。

西垣内郁久校長は「生徒たちのモチベーションも高まりますし、紀央館の取り組みもわかってもらえる機

会にできる。駅の関係者には、ご協力頂きありがとうございます」と話している。同校ではホームページをリニューアルでPRの力を入れている。今後もほかの公共施設等での展示などを考えていきたいとしている。



駅舎物産コーナーにレーザー加工品を展示

令和5年(2023年)12月29日(金曜日) (日刊)日曜休日翌日休刊

